

リメンバー新聞

105号

2020年10月17日

編集・発行
リメンバー名古屋自死遺族の会
<http://will.obi.ne.jp/remember/>
remember_nagoya@yahoo.co.jp
FAX:020-4668-8925
郵便:〒612-8799
京都市伏見区塙木町1148
伏見郵便局留 リメンバー名古屋

11月
15日

「リメンバーin岡崎」を開催

今年度も、岡崎市において「わかちあいの会」を下記のように開催します。

日 時	2020年11月15日(日) 13:15-16:00 ※13:00受付開始
場 所	岡崎げんき館 愛知県岡崎市若宮町2丁目1-1
内 容	「自死遺族の分かち合いの会」 対象：自死遺族の方限定
参加費	無料 ※愛知県地域自殺対策強化事業費補助金事業

～この居場所～ 講演会

他会からのお知らせ

『コロナ禍における自死遺族のこれから』

他会（この居場所）からのお知らせです。下記のように自死遺族向けの講演会、個別相談会が行われます。

開催日時：	2020年11月21日(土) ※2021年3月27日(土)も開催予定
講演会：	13:30～14:30 (開場13:10)
個別遺族会：	13:30～14:30 1枠 15:10～16:10 2枠
講師：	西野 敏夫 氏 (臨床心理士)
申し込み：	事前予約制※感染予防対策のため メール: cocorobasyo@yahoo.co.jp FAX: 0561-52-3150

-感染への不安を減らすため・ご協力をお願いします-

- ・アルコールでの手の消毒など（アルコールは準備します）
- ・マスクをお願いします（予備は受付で準備します）
- ・トーキングスティック（話す人が合図として持つもの）を使わない形で行います。
- ・大きめの輪か、できるだけ弧に近い形にします。
- ・お茶など飲み物は各自ご持参ください。

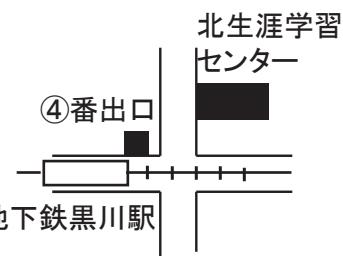
今回で遺族会(分かち合いの会)は100回目となりました

2004年12月の第1回から数えて、今回で100回目となりました。みなさまの強い思い、ご協力に支えられて、ここまで続けられることができました。本当にありがとうございます。

次回の遺族会

第100回

10月18日(日)13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は…

第101回

2020年12月27日(日)
※状況によっては中止・変更になる場合があります。直前にご確認ください。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。
パソコンの方
<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方
<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内(録音でのご案内)
090-8544-9408

「望年会」のご案内

12月27日 遺族会終了後

12月27日遺族会終了後17時ごろから、毎年恒例の食事会を行う予定です。ただし、今年は12月の感染症の状況によっては中止させていただくことがあります。近くになりましたらお問い合わせください。

場所：黒川駅周辺居酒屋
※リメンバー（忘れずにいる）会であることから、「忘」を避け「望」の字をあてています。

近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれど大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト（Dearest）」が開催されています。オンライン（Zoom）での参加も可能です。

日時：2020年11月29日（日）13:30-16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター 地下鉄「本陣」駅

対象：家族以外の大好きな人（恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など）を自死（自殺）で亡くされた方

参加費：500円

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heyajp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

通常の分かち合いのかわりに、11月21日（土）に、個別の相談会を計画しておられます。詳しくはお問い合わせください。

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840 <http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」による、自死遺族のわかつあい「いっぷく処」、また「自死者追悼法要」は、次回の開催は未定となっています。

「いっぷく処 お便り」として、会の担当の僧侶との文通によるやり取りを行っておられます。詳しくは下記までお問い合わせください。

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in <http://inochi.in/>

自死遺族向け面接相談（無料）のご案内

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターここらぼ

要予約 052-483-2095 每月第3火曜日 午前10時-12時

自死遺族向け電話相談（無料）のご案内

自死遺族を支援するNPO法人「アフター・ザ・レイン」（名古屋市）による電話相談

<https://aftertherain-japan.org/>

夜間電話相談：毎週火曜日 22時から翌朝4時まで。

0570-017-222

りめんばー

最近、俳優の方が自死で亡くなるというニュースが続きました。直接の面識はなくても、何度もその顔を見て、その声を聞いていた人の死には、とても大きな衝撃を受けます。特に俳優の方はドラマ、映画などを通して、しばらく一緒に時間を過ごしたような、特別な存在になるところがあります。

その死に関して、インターネット上にあふれる憶測ばかりの記事をみていると、嫌な、腹立たしい気持ちになります。ネット上では悪者探しをして攻撃するような動きもあるようです。多くの人々に知られた存在であるがゆえに、多くの人に当事者としての衝撃、「ふらつき」が生まれるでしょう。その「ふらつき」が生（なま）のまま、ネットという比較的発信しやすい媒体を通して、うごめている感じがします。

ずっと以前に（調べてみると34年前でした）同じように亡くなった、アイドル歌手のことを思い出します。あの時の衝撃は、今も消化されず、衝撃のまま心に残っています。

画面などを通した一方的な関わりである俳優・歌手などの死と、実際に身近で関わり続けた家族などの死は、もちろん同じように考えることはできないでしょう。しかし、俳優・歌手などの自死の衝撃は、時に人の人生を終わらせるきっかけになる程の、強烈なものであることも確かです。

改めて亡くなった方の写真を見ると、どんな顔も悲しく、憂いを秘めているように見えてしまいます。写真自体は何も変わらないのに、おそらくそれは、衝撃でふらついた自分自身の心がそう見せているのでしょうか。（KN）